

よしかわ

News from Yoshikawa City Council

議会だより

No.192

2022.2

発行：吉川市議会
編集：吉川市議会広報委員会
〒342-8501 吉川市きよみ野一丁目1番地
TEL.048 (982) 9421 (議会事務局 直通)
FAX.048 (981) 5392
<http://www.city.yoshikawa.saitama.jp>



目次CONTENTS

定例会概要	2
委員会審査概要	4
答えて市長！一般質問	6
議員提出議案（意見書）	11
コロナ禍を振り返って	13
審議結果	14

議会だよりが
スマートフォンでも読めます

マチイロ

検 索



12月定例会 概要

全26議案可決！

令和3年12月定例会は、11月30日から12月14日までの15日間の開催となりました。

今定例会では、令和3年吉川市一般会計補正予算（第10号）などの市長提出議案26件（2～3ページ）、議員提出議案として、「議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例」の他、2件の意見書など（11ページ）を審議し、議決しました。（審議結果は14～15ページ）

その他、18名の議員が行った「市政に対する一般質問」（6～10ページ）、特集ページの「コロナ禍を振り返って」（12～13ページ）では新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業についてお伝えします。

◆令和3年度吉川市一般会計補正予算（第10号）

既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ8億6639万円を増額し、総額は253億1052万4000円となりました。

・子育て世帯への臨時特別給付金給付事業

5億8500万円

新型コロナウイルス感染症対応における経済対策として、18歳以下の子どもを対象とする給付金を計上するものです。



・新型コロナウイルススワクチン接種事業

5263万円

新型コロナウイルススワクチン3回目の接種に係る人件費、接種案内の作成費用、ワクチン接種の委託料などを計上するものです。

・商業活性化推進事業

1503万8000円

販売促進や販路開拓、設備投資等の経営状況の改善を目指す取組を行う市内事業者に対して補助するものです。

・教育指導推進事業

258万4000円

新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となつた修学旅行の2校分の契約解除費用を計上するものです。

◆各特別会計補正予算

一般会計のほか、各特別会計等の補正予算も計上され、次のとおり可決しました。

〔国民健康保険〕

2971万2000円の増

〔農業集落排水事業〕

192万7000円の増

〔介護保険〕

592万5000円の増

〔後期高齢者医療〕

1207万1000円の増

〔吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業〕

7億6287万4000円の減

〔水道事業〕

・収益的収入及び支出

収入 365万8000円の増

・資本的収入及び支出

支出 2815万3000円の減

〔下水道事業〕

・収益的収入及び支出

収入 40万9000円の減

支出 1685万6000円の増

・資本的収入及び支出

収入 1200万1000円の減

支出 1131万7000円の増

主な議案のあらまし

◆吉川市子ども発達センター条例の一部を改正する条例

吉川市子ども発達センターにおいて障害児相談支援（※）を実施し、福祉型児童発達支援センターの機能を持たせようとするものです。

◆財産の無償貸付けについて

市と民間企業が区分所有（※）する吉川情報サービスセンターの建物の敷地として使用するため、市が所有する土地と民間企業が所有する土地を互いに無償で貸し付け合う契約の期間が令和3年12月18日をもって満了となるため、引き続き無償で貸し付け合おうとするものです。



◆吉川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国の法令改正に伴い、未就学児に係る国民健康保険税の被保険者均等割額の軽減措置について定めるとともに、所要の改正を行おうとするものです。



◆市長及び副市長の給与等に関する条例及び吉川市教育委員教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例

市長、副市長、教育長の期末手当の支給額を改定します。改定の内容は、期末手当の年間支給月数を0・15月分引き下げるものです。

◆工事請負契約の締結について

吉川美南駅東口周辺地区2号調整池工事（その1）につ

いて、請負契約を締結しようとするものです。

工事請負契約の締結について、2名が討論を行いました。

— 反対討論 —

市民の会・無所属

齋藤 詔治 議員

事業地内の所有者による裁判や、再異議の申し立てを起すようです。この区画整理事業は公共施行です。地権者の皆さんは区画整理事業に反対をしていません。私は、今日まで区画整理事業推進に向け、地権者との合意を得るための積極的な話し合いを望んで来ており、同意のない契約には反対です。

— 賛成討論 —

市民の会・無所属

岩田 京子 議員

吉川美南駅東口開発の「環境影響評価書」失われる自然環境の代償措置として第2調整池には湿地創出と重要種の移植が記されている。しかし、実施予定がない他、希少種の移植等、数点の課題はある。

しかし市は「今後、開発エリア内での自然環境との共生に配慮する」「第2調整池整備の中で、何ができるのか研究していく」と答弁。環境影響評価法の深い理解を基に、未来の人々に不利益にならないよう取組む可能性はみられた。



◆第6次総合振興計画（基本構想）を定めることについて

令和3年度をもって現行の第5次吉川市総合振興計画の計画期間が満了することから、新たな10か年計画となる第6次吉川市総合振興計画（基本構想）を定めるものです。

策定にあたって、市民意識調査、地域ヒアリングやパブリック・コメントの実施に加え、新たな取り組みとして若者によるワークショップの開催やまちづくり掲示板の設置

などにより、多くの市民の方からご意見を聴取し策定しました。

人事案件

◆公平委員会委員の選任について

公平委員会委員（※）の永瀬洋子氏が令和3年12月22日をもって任期満了となるため、その後任者として澤登真珠恵氏を選任することに同意を得ようとするものです。



◆固定資産評価審査委員会委員の選任について

固定資産評価審査委員会委員の茂木伸一氏が令和3年12月20日をもって任期満了となるため、再度選任することについて同意を得ようとするものです。

※用語解説

○障害児相談支援

障害児通所支援を利用する全ての方に「サービス等利用計画」を作成し、障害児の抱える課題の解決や適切なサービスの利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援するものです。

○区分所有

マンションやオフィスビルなどのように、1棟の建物の中に独立した複数の住居や店舗、事務所などがある場合に、その建物の独立した各部分を所有することです。

○公平委員会委員

公平委員会委員は、地方公務員法に基づき職員が不利益な処分を受けた場合、その処分を受けた職員からの不服申立てに基づき、公平・中立的な立場で審査をします。



委員会審査概要

総務水道常任委員会

◆吉川情報サービスセンターの土地と建物の無償貸付について

30年の契約だが、将来的な法的な縛りは。

市と相手方がそれぞれ所有する土地と建物の無償貸付は、使用貸借という契約で、法的な期間の定めはない。取壊しや建替えが必要になる等、状況が変わり、契約内容の変更を希望する場合は、お互い協議して決めていくことが契約に定められている。

賛成全員で可決

◆第6次吉川市総合振興計画（基本構想）を定めることについて

第6次総合振興計画（基本構想）の将来都市像「幸せつながる みんなのまち よしかわ」。「幸せ」は人によって捉え方が異なり、まちづくり

という点で「幸せ」をどのように考えているのか。

様々な施策を展開する中で共通する指標は市民の幸福実感であると思え、これまで取り組んできた。第6次総合振興計画でもこの考えを継承し、市民の幸せを第一に政策に取り組んでいこうと考えた。「幸せつながる」は幸福感が連鎖していき、未来につながるイメージ。

賛成全員で可決



◆吉川市一般会計補正予算

新型コロナウイルススワッチン接種費負担金1億459万円減の内訳は。

1、2回目のワクチン接種分の負担金として1億366

5万円の減額。ブースター接種（3回目）の接種分の負担金として3206万円が増額となっている。

賛成全員で可決

◆水道事業会計補正予算

排水管布設工事費・石綿管布設替工事費・舗装復旧工事費の減額理由と要因は。

現場を精査測量すること、設計額が予算額よりも低くなったこと、落札率による。乖離幅は67～99%。

賛成全員で可決



文教福祉常任委員会

◆吉川市子ども発達センター条例の一部を改正する条例

児童福祉法において、児童発達支援センターの役割は、児童発達支援を行うほか、施設の有する専門性を活かし、地域の障がい児やその家族の相談に応じ、地域の中核的な療育施設とされているが、どんな形で実践していくのか。これまでの事業に加え、障害児相談支援事業を実施する。今までは、センターに通う未就学児とその保護者が対象となっていたが、障害児相談支援については、18歳までの児童へと対象を拡大する。また、児童発達支援については、未就学児を対象に内科医、歯科医の嘱託医及び臨床心理士を配置し、質の向上を図る。

生まれ育つ過程の中で、様々な相談があると考え、現状システムの中で、総合的

なセンターとしてどのような活用を考えているか。

市の療育センターとしてスタートしていきたい。また、同様の事業を実施する民間事業者とも連携を進めたい。療育は、一人の児童に対し、多くの機関が関わる中で、重層的支援、断らない相談など、組織体系についても検討し、この分野については、発達センターが中核的な役割を担いながら、他機関と連携し、成長の過程を支えていきたい。

賛成全員で可決



◆一般会計補正予算

児童発達支援事業の利用者が増加とのことだが、状況は。

昨年9月時点では1001名、現在は147名となっている。延べ利用者数も平成29年度393人、令和2年度1307人となっている。

社会福祉協議会の貸付等を活用しても生活の立て直しに足りない方もいるのではないか。

貸付などを活用していたが、生活保護の申請に至った場合を含めてコロナ禍の影響による申請が5件である。

賛成全員で可決



建設生活常任委員会

◆工事請負契約の締結（吉川美南駅東口周辺地域・2号調整池）について
環境影響評価・植物の移植

計画について。

事業開始前の計画では、2号調整池に湿地環境を創出し植物を移植するとしていたが、事業開始後の詳細設計で底面部の地盤改良が必要となり、湿地環境の創出や保存種の移植は難しいと判断した。県や専門家へ相談したところ、保全対象種をすべて8号緑地へ移植することが望ましいとの意見をいただいたため、すべての種を移植した。

賛成全員で可決

◆工事請負契約の変更契約の締結（吉川美南駅東口周辺地域・1号調整池その2）

工期変更の理由や、工期延伸に伴う修景整備スケジュールへの影響は。

地盤が軟弱であったため、地盤改良に時間を要したことや、調整池工事から発生する盛土材の再利用先の調整に時間を要したため、工期延伸が必要となった。

調整池の機能としては令和4年度中に完成予定としており、それに影響はしない。その後の修景工事については、

工事内容や管理方法などを整理した上で、整備時期を検討していく。

賛成全員で可決

◆一般会計補正予算(第10号) 減災費・気化式冷風機は避難所の開設時以外にも使用するのか。

原則、避難所開設時の備品として購入するものだが、学校の授業や、部活動などでも活用できると考えている。

エアコンではなく冷風機を入れたが、費用対効果は。

空調設備の整っていない避難所を対象に換気の促進を目的として導入するもので、費用面でも抑えられる。

賛成全員で可決



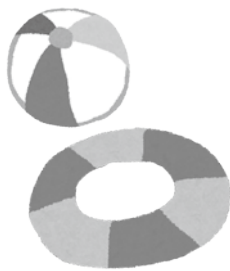
注目の議案

◆屋外プール廃止決定

経年による施設の老朽化が顕著であり、突発的な故障などのリスクが高まっていることから屋外プールを廃止します。

屋外プールは昭和56年にオープンしました。流水プールと幼児用プールがあり、夏季のレジャー施設として多くの市民に親しまれてきましたが、近年利用者は減少し、毎年3000万円を超える赤字が続いていました。

また、平成21年に大規模改修を行いました。プールに含まれる塩素によりさびや劣化が発生しやすい状況に加え、竣工後40年を経過していることから、今後さらに大規模な修繕等が不可欠であることが予想されます。



パブリックコメントでは「友達と自転車で行きたいので無くないほしい」、「残念だ」等の声が寄せられていることから、文教福祉常任委員会や本会議において、議員からは、存続は出来ないのかという意見がありました。しかしながら、修繕には多額の費用を要し、それだけの金額をかけて修繕しても利用者の増加や収支の改善が見込めないとの結論が出されたことから、市議会としては、屋外プールの廃止は残念ですが、「賛成全員」で可決に至りました。

災害の発生時における対応、 発生以前の対応について

中嶋 通治



問 夜間訓練について、自主防災組織の要望があれば積極的に支援するとの答弁であったが、ブラックアウトについては今後研究していくとの答弁であった。市として研究ではなく積極的に夜間訓練を行うべきであるがいかがか。

答 実施するにあたり安全に配慮し、効果的な実施について検討していく。

問 庁舎の自家発電機の動作確認を行っているのか。また、72時間経過したのちの対策は。

答 停電検査で確認している。1万ℓの燃料を確保している。不足についての燃料は石油組合にお願いしている。

問 小中学校で児童生徒の訓練を定期的に行っているのか。

答 すべての小中学校において、避難訓練や全国瞬時警報システムを活用した初動訓練などを実施している。具体的な避難方法や避難する際の注意事項等を指導している。今後は水害を想定した訓練の実施についても検討する。

問 子ども児童の引き渡しについて

答 原則保護者に引き渡す。

答えて市長！ 一般質問

今定例会では、12月10日（金）、13日（月）、14日（火）の3日間にわたり18名の議員が市政全般について、市の見解をただしました。主な内容を質問者が要約してお知らせします。

詳細は会議録をご覧ください。

会議録は、ホームページや市立図書館で閲覧できますが、今定例会の会議録の提供は、2月上旬となる予定です。



子宮頸がん予防ワクチン 積極的勧奨再開に向けて

五十嵐 恵千子



問 国は、2013年6月より子宮頸がん予防ワクチンの積極的勧奨を差し控えていましたが、来年度から「積極的勧奨」を再開するとの報道がある。当市も小6年生～高校1年生相当の女子及び積極的勧奨の差し控えにより、接種機会を逃した方々にも個別通知で周知し接種率の向上を。

また、市広報紙・HPなどでも広く周知を。

答 当市においても国からの通知を踏まえ、予診票を同封した個別通知を送付し、接種勧奨を行う。また、国の方針が積極的勧奨へ変わったことを広く周知する。

◆市のDX推進計画は戦略的に

問 コロナ禍・人口減少・高齢化等、社会構造の急激な変化の中で、社会全体がデジタル化に向かわざるを得ない今、当市においても行政DX・地域DXなど、人材育成・確保を図りながら、幅広く戦略的にデジタル化を進めるべき。見解を。

答 仰る通り。人材確保を図り進めていきたい。

高齢者のための 無料入浴券について

赤出川 義夫



問 高齢者の憩いの場として利用されてきた地元の銭湯が、令和4年3月末で閉店すると聞いてます。健康増進のための無料入浴券配布経緯、利用状況、今後他の入浴施設への補助は。

答 高齢者福祉の推進、一般公衆浴場の確保を図るため平成30年より開始、年間570名利用。国の調査では浴室保有率は、95.2%であり市内の他の公衆浴場は銭湯とは異なり、雇用や休養等を目的としていることもあり、今後検討したい。

◆小児用コロナワクチン接種について

問 令和3年11月16日付で厚労省より、「5歳以上11歳以下の者への新型コロナワクチン接種に向けた接種体制の準備について」の通知に対し、市として安全性の認識は。

答 小児用ワクチンは臨床試験で有効性、安全性については厳格な評価が行われ、薬事承認されていると認識している。これまでも、ファイザー社製ワクチン接種の対象年齢が拡大されるなど、有効性・安全性が十分確認されている。

ベンチ寄付制度 「まごころベンチ」の創設を

小野 潔



問 ①1回目接種終了者が86%、当市の接種率は素晴らしいが要因は②3回目接種の準備状況は、ファイザー、モデルナとの交差接種の考え方は③小中学校の感染症対策として水道の蛇口をセンサーなどの非接触型へ④事業費約7000万円の「事業発展補助金の状況は⑤国が行う0歳から18歳、住民税非課税世帯への10万円の給付金、生活困窮者自立支援金30万円、中小企業最大250万円、個人・フリーランスへの最大100万円を支給する「事業復活支援金」などへの所見は。

答 ①11月末で1回目接種は87%で、要因は夏休み期間に小中学生へ接種を可能とし、円滑に進んだこと②3回目接種は12月医療従事者、一般は2月より高齢者から予定、会場は前回同様で。ファイザー、モデルナは日毎で分け、交差接種に的確に対応③財源を含め研究する④現在まで210件申請、農業事業者にも推進⑤国の動向を注視して適正に対応。

問 第一土地区画整理地内の近隣公園・街区公園などの越境した樹木、壊れた遊具・ベンチへの対応に、ベンチ寄付制度の創設を。

答 公園再生プロジェクトの中で対応する。

当市における観光と 地域活性化について

大泉 日出男



問 吉川版サイクリングコースの充実を検討してはどうか。

答 サイクリングコースによる市内観光は地域活性化に寄与すると認識している。この度、市内HPのレンタサイクルページに「なまずの里吉川ルート」の紹介を掲載していく。

問 今までの観光支援の取り組みと、これからの具体的な取り組みは。

答 なまずやイメージキャラクターや大吉ブランドなどで市の魅力発信に努めた。市内事業者が、Withコロナ対応ができるよう「事業発展補助金」を創設し支援している。

問 観光への支援や地域活性化を目的としてワーケーション、リモートワークの推進があるが、観光と地域活性化を一緒に融合させる視点で、例えば吉川市民農園をモデル施設にしてみてもどうか。

答 市民農園に設置できる施設が、農地保全又は農地利用上必要な施設に限定されているため難しい。今後のニーズの高まりや、民間事業者が設置しているワーキングスペースの活用状況を注視していく。

スポーツとまちづくり

稲葉 剛治



問 吉川市ではスポーツビジョンが策定され、現在スポーツ推進計画の策定が進められている。計画が策定されることで施策のさらなる推進を期待している。吉川市スポーツ推進計画の基本方針、どのような視点と理念で計画策定を進めているか。

答 「吉川市スポーツ推進ビジョン」に基づき、スポーツに関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための指針として策定する。

問 計画案にパラスポーツの観戦が盛り込まれているが、どのような内容か。

答 市内在住の方でロービジョンフットサルの世界大会で活躍される方がいる。その方と情報共有しながら、今後の観戦する機会や、体験する機会などを進めていくというような内容を協議している。

問 アクアパーク駐車場の増設を。

答 現在アクアパークの南側で道路整備が行われている。工事の進捗を確認しながら駐車場増設を検討する。

三郷北部土地区画整理事業の 現状と道庭地区への影響

成本 直寛



問 現在、三郷北部土地区画整理事業が行われている。近隣住民の方の関心は非常に高い。

事業の進捗による吉川市内（特に隣接する道庭地区）への現時点での影響・課題・対策などは。

答 当事業は三郷市・土地区画整理組合が盛土工事や調整池築造工事を実施している。周辺の住環境に影響を及ぼすことを懸念し、周辺住民に情報提供の実施や住宅地内への工事車両進入防止、土砂の飛散軽減対策、騒音対策など、住環境に配慮し工事に取り組んでいる。

問 事業の影響により、三郷市小中学校に通う約45名の児童生徒が道庭地区（けやき通り行政境）を通る迂回ルートで通学している。期間は令和6年12月末まで。安全対策として、地域の方が街路樹の枝を払い見通しを良くしたり、交通安全ののぼりを設置し、安全安心に努めている。横断歩道・交差点の安全対策は。信号機の設置予定はあるか。

答 三郷市と土地区画整理組合・吉川警察署が協議の上、注意看板の設置・交通誘導員の配置等、交通安全の対策を実施している。信号機の設置は今のところ計画は無い。

『教育支援センター』の
現状と課題について

雪田 きよみ



問 市は今年、「適応指導教室」を「教育支援センター」と改め、「児童・生徒が自らの進路を主体的に捉え、社会的に自立することを目指せるよう、学習支援や体験活動の充実、教育相談員による丁寧な面談を行っていく」との方針を示しました。具体的な変化・児童生徒や保護者の反応・今後の課題を問います。

答 相談員が増え、体験通室を丁寧に行うことができるようになり、安心できる場所であると感じられるような個別支援ができています。地域の方の協力を得て、農業や茶道の体験を行い、達成感や自己肯定感を育む機会を持てるよう工夫し、学習面でも小さな成功体験を積み重ねられるよう、支援に努めています。児童生徒や保護者からは、家から出ることができるようになって良かった、表情が明るくなったなどの声をいただいています。今後はセンターにも通室できない、引きこもり傾向の子どもたちへのアプローチや支援が課題と認識しています。引き続きアウトリーチ事業など、受け入れられやすい方法を取り入れながら、社会とつながることができるように働き掛けていきます。

持続可能な公共交通へ
法定協議会設置も研究

降旗 聡



問 市民・事業者・行政とが情報共有を図り、市内公共交通の最適化を推進するための「公共交通会議」の設置を。

答 令和2年度に、市民や交通事業者、有識者を交えて設置・開催したタクシー利用料金助成事業検討委員会で、公共交通に関する様々な意見をいただいた。今年度は、同検討委員会から、市民や交通事業者の委員を増やすなど拡充を図り、「公共交通に関する意見交換会」を設置し開催する予定。

参加者それぞれの立場から、公共交通全般に関する忌憚のない意見を伺うことにより、市公共交通の現状や課題を把握し、今後の持続可能な公共交通に関する検討につなげたい。

また、この意見交換会を重ねるなかで、地域公共交通活性化再生法に規定する法定協議会の設置などについても研究していきたい。

問 バス事業者への補助金の推移は。

答 令和2年度には、新型コロナウイルスの影響により利用者が減り、事業者の採算性が悪化したことから補助額が増加し、1509万円の補助を行った。3年度も増加すると見込んでいる。

新型コロナウイルス
感染症対策について

稲垣 茂行



問 新型コロナ「第6波」への対応は

答 県は今後の感染拡大に備え、病床と宿泊施設を確保するとともに、自宅療養者への健康観察を受けられる体制準備を行っている。

問 市内感染状況とワクチン接種状況は

答 令和3年度新規陽性者は11月末現在1,109人で2年度と合わせると1,408人。ワクチン接種は1回目56,977人で接種率約87%、2回目は56,224人で約86%。

問 市の自宅療養者への支援内容と体制は

答 10月に県と覚書を締結。県より在宅療養者情報の提供を受け、パルスオキシメーターと食事の提供を代行する枠組みを整備。

問 施設利用基準の見直しとイベント開催は

答 公共施設の利用では、感染拡大防止策を講じ状況に応じ判断。1,000人を超える大規模イベントでは、従来の半数程度以内とする。

問 ワクチン接種証明書の利活用は

答 接種をしていない方への差別的扱いがないよう配慮しつつ、国の方針に基づき運用。

問 次年度の会計年度任用職員任用は

答 予約業務や接種会場での任用を行いたい。

安全安心のまちづくりについて

松崎 誠



問 江戸川河川防災ステーションの整備に合わせ、当市が整備建設する水防センター実施計画の策定期間と地域住民との協議について伺う。

答 水防センターを含む河川防災ステーションは、令和8年度の完成を目的に工事が進められている。水防センターの整備は、令和4年度から2年程度かけて、施設の規模や機能、平時の利活用など整備の基本となる計画をまとめる。地域住民との協議は、地域の方々を含め、幅広く市民の方々に意見を求めながら検討する。

問 第6次総合振興計画で、誰もが安全に通行できるよう、生活道路の整備を計画的に推進するとある。今後の予算の効率的・効果的な執行に向けた対応と、財源の確保について伺う。

答 今後も引き続き、優先順位を定めながら財源の確保に努め、実施計画や予算編成の過程を経て、計画的に実施していくという趣旨により、追記したものである。また、道路の補修工事に国の補助金の活用を図るため、国の交付金の要件路面正常調査を計画的に実施するなど財源の確保に努め、今後においても予算の効率的・効果的な執行とともに市の財源軽減に努める。

障がい者の通院を含む 外出支援の充実を

飯島 正義



問 介護タクシーを利用する際にタクシー代とともに介助料の負担額が大きく、外出支援策として介助料等利用券を発行し負担軽減を図るべきです。血液透析で通院される患者さんで無料送迎の体制のない施設に通院される患者さんの中には介助タクシーを利用せざるを得ない方もいます。実情にあった枚数にするべきではないでしょうか。

答 当市の外出支援策としてリフト付き車両の無料貸し出しや一時利用介護事業があります。

この二つをメインで実施しています。そのため、介助料と補助枚数の制限は考えていません。他の自治体では透析患者への手厚い支援をしているところがありますが、当市はより多くの方に広く利用いただけるよう考えています。

◆大澤元埼玉県知事居宅跡地の公園整備は

問 公園整備について、具体的な計画いつから利用できるかをお聞きます。

答 今年度は雑草などの除去を実施し、樹木などの状況について調査を行っています。土地所有者の意見を伺い計画を検討し、利用開始の時期は未定です。

自治会は地域づくりの基盤 低い美南地区 全体に減少

伊藤 正勝



問 コロナ禍で市民活動も大幅に制約。地域の基盤である自治会の実状について伺いたい。

答 市内の95の自治会加入率は令和2年度で68.1%。5年前は72%で減少傾向にある。コロナの影響で事業実施ができない場合は、活動補助金をマスクや消毒液配布に活用していただいている。

問 加入率は美南の3自治会では30%台。駅寄りの自治会は100%。この理由と今後の対応を。

答 入居の時期にもばらつきがあり関心が薄いといえる。育まちの自治会は住宅販売会社が事前に管理組合と自治会加入を求めている。自治会の存在は大事であり他の自治会の情報をホームページで紹介するなど加入促進に努めたい。

問 全国的に看護師や介護士の処遇改善問題が浮上している。民間医療機関のPCR検査実施の実状についても、この機会に伺いたい。

答 処遇の実状については把握していないが、市内で就業の看護師は平成30年度（県統計）で328人。病院214人。診療所30人。介護施設34人などとなっている。症状がある場合PCR検査を行う民間の医療機関は、市内で18カ所、件数については把握していない。

いじめ防止対策

林 美希



問 いじめ防止対策法第26条「いじめを行った者の出席停止」にあたる項が吉川市いじめ防止対策基本方針に記載されていない。なぜか。

答 条項については認識しているが、基本方針への記載については議論されてこなかった。

問 いじめを受けた者が不登校になっている、いじめを受けた子が学校で教育を受ける権利が守られていない。いじめを行った者が別室で授業を受ける（法第23条）、出席停止（法第26条）、などの措置を市いじめ防止対策基本方針へ明記すべく検討していただきたいがお考えは。

答 総合教育会議において検討していく。

問 いじめを受けた子をまず一番に守り通すことと、併せていじめを行った子への支援も必要。お考えは。

答 学校だけではなく、市の人的資源をネットワーク化し、しっかりとした道筋をつくる。そこは根本的なところと思っているのでしっかり議論していきたい。

米価下落で困窮している 販売農家に支援の手を

吉川 敏幸



問 令和3年産米の概算金はコシヒカリ一等米で1俵8,300円。昨年比で約3割下落している。日本の農業所得に対する国の直接支払いの割合は15.6%。それに対して、欧州は90%以上、アメリカの穀物系農家で50%前後と、欧米各国は自国向け食糧を生産する農家をしっかり守り、食料安全保障を重視している。近隣市町のように、米価下落に困窮している米農家に支援を実施したらと考えるが、市の見解を伺う。

答 事業発展支援補助金の活用をいただいている。

◆子育て世帯として、分断なく給付を

問 今、国の財政に対する考え方が大きく転換しようとしている。財政破綻はないという考えに立脚すれば、18歳以下と年齢を制限すべきではなく、デフレ脱却のために全国民に給付すべき。市として、何とか対象外となる世帯へ給付することはできないか。

答 国の制度に基づいて支給する。市独自で手当てすることは考えていない。

市の重要施策 冠水対策、子ども育成、CO2削減の事業は



遠藤 義法

問 来年度予算編成の事業実施方針から
①吉川駅から北側の冠水対策として共保ポンプ場のポンプ増設調査を行っているが、結果と推進策は。②保健センターや市民交流センターおあしすなどの大規模改修計画は。③新型コロナ禍の影響から子どもの学力、体力を教育委員会はどう育成するのか。④CO2削減のため太陽光発電の活用促進をすべきである。

答 ①区域の冠水被害のシミュレーション、流出解析を行い、課題の洗い出し後、江戸川河川事務所との協議に入る。②施設の維持管理は予防措置をとってきた。おあしすは24年度まで、保健センターは25～29年度に改修を実施する計画である。その他の施設も計画に沿って実施する。③コロナ禍で一番不安なのは、子どもたちの心の不安定なところである。来年度に向け心のケアをリカバリーできる施策ができないか考えている。④策定した環境保全指針を踏まえた環境行動計画を年度内には動かす準備をしている。なかでも吉川の環境を考えると太陽光発電は重要であり、設備設置補助の拡充を図っていきたい。

SDGs縦割りの見解 政策室 社会潮流に乗れず



岩田 京子

問 9月、初の「国連食料システムサミット」がNYで開催。「食料システム」とは、食の生産、加工、流通及び消費の一連の活動のこと。温室効果ガス3分の1の排出、森林破壊、飢餓、児童労働など多くの課題を抱え、食料システムの変革がSDGsのすべての解決につながると科学者達も認める。サミットに先駆け農林水産省がつくった「みどりの食料システム戦略」中の「SDGsウエディングケーキ」の見解を伺う。

答 森林、土壌、水、大気など自然資本から生み出される様々なものを活かすことで、私たちの社会は成り立っていると考えている。

問 SDGs 推進担当の政策室も同じ考えか。

答 政策室ではこれまで通り、市の施策をSDGsの17のゴールに関連させマークを付け、相乗効果を意識し、総合的に取り組んでいく。

問 国連食料システムサミットは首脳級会合で、食料システムの変革は世界的取り組みだが、市は部によって考え方が違うのか。

答 農水省がつくった「戦略」に対する質問に、産業振興部長が認識を示したということによろしいのではないかと。

◆議会運営委員会より提出された議案
議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
人事院勧告の趣旨を踏まえ、議員の期末手当の年間支給月数を0・15月分を減額し、4・3月分とします。

委員会提出議案



美南駅東口区画整理は 市民の税金53億円投入される



齋藤 詔治

問 美南駅東口土地区画整理事業は、市民の税金53億円が投入されている大事業です。しかし中原市長のまちづくりコンセプトが優先し、一番大事な財政を軽んじた企業経営感覚の欠如が見られます。市が、地権者に対し裁判を起こし取り下げました。市の実質的な敗訴と考えられます。また9月議会に同様な裁判が地権者に対し提起される中、本事業の課題を質問しました。①建設発生土が混入問題②建設搬入土不足による盛土土圧不足の地盤沈下③産業ゾーンが製造業者でないデータセンターへの売却問題④搬入盛土土壌分析のお願い⑤駅前北側商業ゾーン4.4ha応募者なし対応⑥駅前南側商業ゾーン1.2ha資産価値の検討⑦業務代行業者と吉川市の一連の責任など、事業の透明性、公正、公平、信頼の持てる対応をお願いしました。

答 ①搬入事業者に分業の実施。②③現地にて地盤の沈下終息が確認できた。県より土壌分析は必要ないとの見解。④安価な売却でなく、選定委員会で審査し決定。⑤募集条件や時期など検討。⑥年度内に基本計画の策定を目指す。⑦出せる情報資料は、今後も対応する。

意見書

意見書は、地方自治法第99条に基づき、市の公益に
関することについて、国会や関係行政庁に対し、議会
の意見をまとめて提出する文書のことです。

今定例会には2件の意見書が提
出され、次の1件を可決、内閣
総理大臣などへ送付しました。



実効性あるカーボンプライシング の推進の加速化を求める意見書

英グラスゴーで開かれていた気候変
動枠組み条約第26回締約国会議（COP
26）は11月13日、成果文書「グラス
ゴー気候合意」を採択して閉幕しまし
た。

産業革命前と比べ「1.5度に抑え
る努力を追求する」ことを世界の共通

目標とすることを確認できたことや、
排出抑制対策を講じていない石炭火力
や非効率な化石燃料補助金に対し段階
的削減を加速することの合意がされま
した。そして何と言っても、パリ協定
のルールブックが6年越しに完成がさ
れたことは、大変な成果でありました。

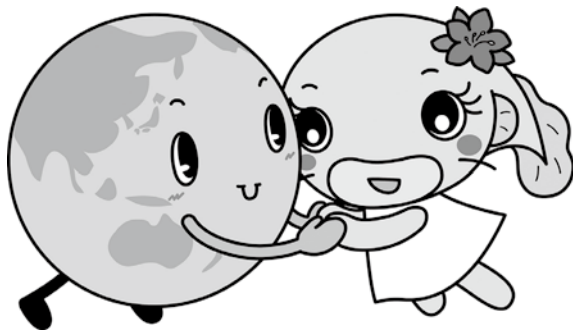
日本は「1.5度目標」を達成する
ためには、30年度までに温室効果ガス
の排出量を13年比で46%削減（50%の
高みを指す）、50年度までに実質ゼ
ロの目標達成が何としても求められま
す。そして、その実現には社会全体で
排出削減に向けた迅速な行動の変化が
必要です。

社会全体の行動の変化を実現するに
は、損失に見合ったコストを、排出者
が排出量に応じて負担する公平な仕組
みとして実効性あるカーボンプライシ
ングを推進していくことが不可欠です。
社会全体に影響を及ぼす制度ではあり
ますが、その目的や効果を正しく伝え
る情報発信と早期実施が重要です。

企業の中でも脱炭素化を目指してグ
ローバルにサプライチェーンの取引先

を選別する動きが加速し、脱炭素の取
り組みに対する機関投資家、株主、顧
客、社員といったステークホルダーの
関心も高まっています。他国が次々と
炭素税や排出量取引、炭素国境調整措
置をしいはじめ、日本企業の国際競争力
や日本の産業立地競争力を低下させる
可能性があります。取り組みの遅れが、
企業価値にも影響を与えかねません。

よって国におかれましては、30年度
までのCO₂排出削減目標を確実に実
現するために、実効性あるカーボンプ
ライシングの推進の加速化を求めます。



タブレットなどを活用して オンライン会議の研修会を行いました



議会活性化特別委員会では、議会運
営におけるICTの活用について協議
を進めています。令和3年12月21日に
オンライン上での議会運営の検討のた
め、議員の私用PCや市のタブレット
を使用し、試験的なオンライン会議を
実施しました。

当日は、会議ソフトのインストール
や開始方法の手順、基本操作の確認を
行った上で、議題を2件設定し、オン
ライン会議上で委員による協議を行
いました。

今後も議論や実践を進め、非常時の
議会運営や効率化に向けた検討をさら
に進めてまいります。

バス・タクシー事業者支援



約2,100万円

感染拡大による利用者数減少に伴い、影響があった路線バス及びタクシー業者に支援金を交付しました。

タブレットの配布



総事業費約3億円のうち約1億円

国のGIGAスクール構想に伴い、市内小中学校の児童生徒に、1人1台のタブレット端末を整備しました。

プレミアム付商品券の発行



約4,400万円

市内の小売業、飲食業、サービス業等、取扱い店舗で使用できるプレミアム付商品券を発行し、地域経済の活性化を行いました。

菌の飛散を防ぐトイレの洋式化



フタを開けてから
流してください

総事業費約2億8,000万円のうち
約1億1,400万円

栄小学校、旭小学校、市内9公園と公共施設のトイレを洋式化しました。蓋を閉めて水を流すことで菌の飛散を防止することができます。

**災害に備える
新しいカタチ**

約5,100万円

感染症対策を踏まえた避難所の備品を整備しました。3密を避けるためのテントや体温計、備蓄物資等を購入しました。



公共施設の整備

約250万円

市役所等の公共施設における感染拡大防止を図るものとして、アクリルパーテーションやデジタル体温計等を購入・設置しました。

特集▶ コロナ禍を振り返って



新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

(令和2年6月定例会～令和3年12月定例会 予算額)

＜令和2年度＞

6月定例会・7月臨時会	1億8,148万6,000円
7月臨時会・9月定例会・12月定例会	4億8,819万3,000円
3月定例会(令和2年度 補正予算)	7,683万9,000円

＜令和3年度＞

3月定例会(令和3年度 一般会計予算)	615万2,000円
3月定例会・5月臨時会・9月定例会	2億1,924万9,000円
9月定例会	843万1,000円
12月定例会(専決処分含む)	3,844万3,000円



10億1,879万3,000円

◎臨時交付金を活用した主な事業

ワクチン接種者への交通支援

約1,200万円

ワクチン接種会場に行くことが困難な要介護者等を対象に、タクシーなどの交通手段を確保し、移動の支援を行いました。



12月定例会審議結果一覧

○=賛成、×=反対、議=議長(議決に加わりません)
◎=議案提出者、—=退席

	議決結果	自由民主党					市民の会				未来会議			共産		公明			無	無
		赤出川 義夫	吉川 敏幸	加藤 克明	中嶋 通治	松崎 誠	岩田 京子	稲垣 茂行	伊藤 正勝	齋藤 詔治	稲葉 剛治	戸田 馨	林 美希	遠藤 義法	飯島 正義	雪田 きよみ	小野 潔	五十嵐 恵千子	大泉 日出男	成本 直寛
《市長提出議案》																				
専決処分事項の承認について	承認	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分事項の承認について	承認	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市子ども発達センター条例の一部を改正する条例	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市市民プール条例の一部を改正する条例	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長及び副市長の給与等に関する条例及び吉川市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の無償貸付けについて	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結について	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の変更契約の締結について	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の変更契約の締結について	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の変更契約の締結について	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の変更契約の締結について	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
損害賠償の額を定めることについて	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市道の路線廃止及び認定について	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公平委員会委員の選任について	同意	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第6次吉川市総合振興計画(基本構想)を定めることについて	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度吉川市一般会計補正予算(第10号)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度吉川市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度吉川市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度吉川市介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度吉川市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

	議決結果	自由民主党			市民の会			未来会議			共産		公明		無	無						
		赤出川 義夫	吉川 敏幸	加藤 克明	中嶋 通治	松崎 誠	岩田 京子	稲垣 茂行	伊藤 正勝	齋藤 詔治	稲葉 剛治	戸田 馨	林 美希	遠藤 義法	飯島 正義	雪田 きよみ	小野 潔	五十嵐 恵千子	大泉 日出男	成本 直寛	降旗 聡	
令和3年度吉川市吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度吉川市水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度吉川市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
《委員会提出議案》																						
議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
《議員提出議案》																						
適格請求書等保存方式(インボイス制度)の中止を求める意見書	否決	×	×	議	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○
実効性あるカーボンプライシングの推進の加速化を求める意見書	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○


* 会派名の「自由民主党」は「自由民主党吉川市議員団」、「市民の会」は「市民の会・無所属」、「未来会議」は「未来会議よしかわ」、「共産」は「日本共産党吉川市議員団」、「公明」は「公明党吉川市議員団」の略です。「無」は会派に属さないものです。

ホームページ、ぜひご利用ください！

市のホームページでは、意見書の全文や本会議の会議録、議会活動などがご覧いただけます。

ぜひ、ご利用ください。

吉川市議会 検索



◆ご意見・ご感想をお寄せください◆


議会だよりをご覧になったご意見・ご感想をお寄せください。

〒342-8501
吉川市きよみ野一丁目1番地
吉川市役所 議会事務局

FAX
048(982)5391

「新型コロナウイルス感染症対策へのご協力ありがとうございました」

今定例会におきましても、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止にご協力をいただき、ありがとうございました。引き続き、皆様のご協力のもと議会運営を進めて参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



次定例会の予定 市の重要な施策や皆さんに身近な問題が審議されます

日	月	火	水	木	金	土
		2月22日 開会日	2月23日 休会日	2月24日 休会日 (議案調査日)	2月25日 本会議 (代表質問)	2月26日 休会日
2月27日 休会日	2月28日 休会日 (議案調査日)	3月1日 本会議 (議案審議)	3月2日 本会議 (議案審議)	3月3日 休会日 (議案調査日)	3月4日 委員会 (総務水道・ 文教福祉)	3月5日 休会日
3月6日 休会日	3月7日 委員会 (総務水道・ 文教福祉)	3月8日 委員会 (建設生活)	3月9日 委員会 (建設生活)	3月10日 委員会 (請願審査)	3月11日 休会日 (委員長報告 作成日)	3月12日 休会日
3月13日 休会日	3月14日 本会議 (委員長報告)	3月15日 休会日	3月16日 一般質問	3月17日 一般質問	3月18日 一般質問 閉会日	

- 本会議は10時、委員会は9時30分に開会します。本会議の様子はインターネットでもご覧いただけます。
- 傍聴について 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴自粛のご協力をお願いする場合があります。

「よしかわ議会だより」の音声版を「朗読サークルきんもくせい」の協力で作成しています。
ご希望の方は、議会事務局へご連絡ください。

編集後記

コロナ禍も落ち着きを見せたとはいきや新たな変異株オミクロン株が出現しました。正しくコロナを恐れていますか。

広報委員の任期は2年です。今回をもって後期の委員へと引き継ぎます。任期中のこの2年間は、コロナ一色であり、市内の様々な行事が3密を避けるため中止となり、毎号表紙の写真はどうしようか、また、市民が関心のある議案は何だろうと注目の議案のコーナーを設け、検討を重ねてきました。今号では、コロナ禍の2年間で振り返り、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用しどんな事業を行ってきたのかをまとめてみました。今までご愛読いただいた皆様に感謝申し上げます。

吉川 敏幸

表紙の写真

1月9日、吉川美南駅西口広場にて市消防団出初式が開催されました。

他の仕事がありながら地域の滅災事業や消火活動にご協力くださる消防団。小学生から防火・減災活動を学び、全国大会でも上位入賞されている少年消防クラブ。感染の恐怖と戦いながら救急・救命活動にご尽力されている消防組合。これら団体のみならず、市民の生命と財産を守るため、日頃から訓練されている内容の一部をご披露くださいました。

